

# 安全報告書 2024

## ○ ごあいさつ

日頃よりアストラムラインをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当社は、皆様のご理解とご支援により、2024年8月に開業30周年を迎えることができました。これからも地域に信頼される鉄軌道事業者であるために、「安全・安心な運行」と「地域・社会の発展」を経営の基本として、「輸送の安全性確保」の向上に努めてまいります。

開業から続けている「鉄道運転事故ゼロ」につきましては、令和5年度においても継続することができましたが、近年、特に甚大化・頻発化している自然災害への備えを強化するなど、現状に満足することなく安全管理体制の改善に取り組む所存です。

今後も皆様からのご意見やご要望にも耳を傾けながら、より充実した安全対策とお客さまへのサービス向上に努め、安全性・快適性・定時性といったアストラムラインが持つブランドに一層の磨きをかけてまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、当社の令和5年度における輸送の安全確保のための取組み等を皆様にご理解いただくために公表するものです。ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただきますようお願いいたします。

広島高速交通株式会社

代表取締役社長 政氏 昭夫



○ 安全方針

- (1) 安全の確保は、輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は、安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は、安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- (5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

○ 令和5年度の安全目標

- ・事故、輸送障害、インシデントの発生ゼロ  
教育訓練（ヒューマンエラーによる事故等の撲滅）、設備の機能改良、故障対応等
- ・コミュニケーションの活性化  
部署間の意思疎通等、情報の共有

○ 令和5年度の事故等の発生状況

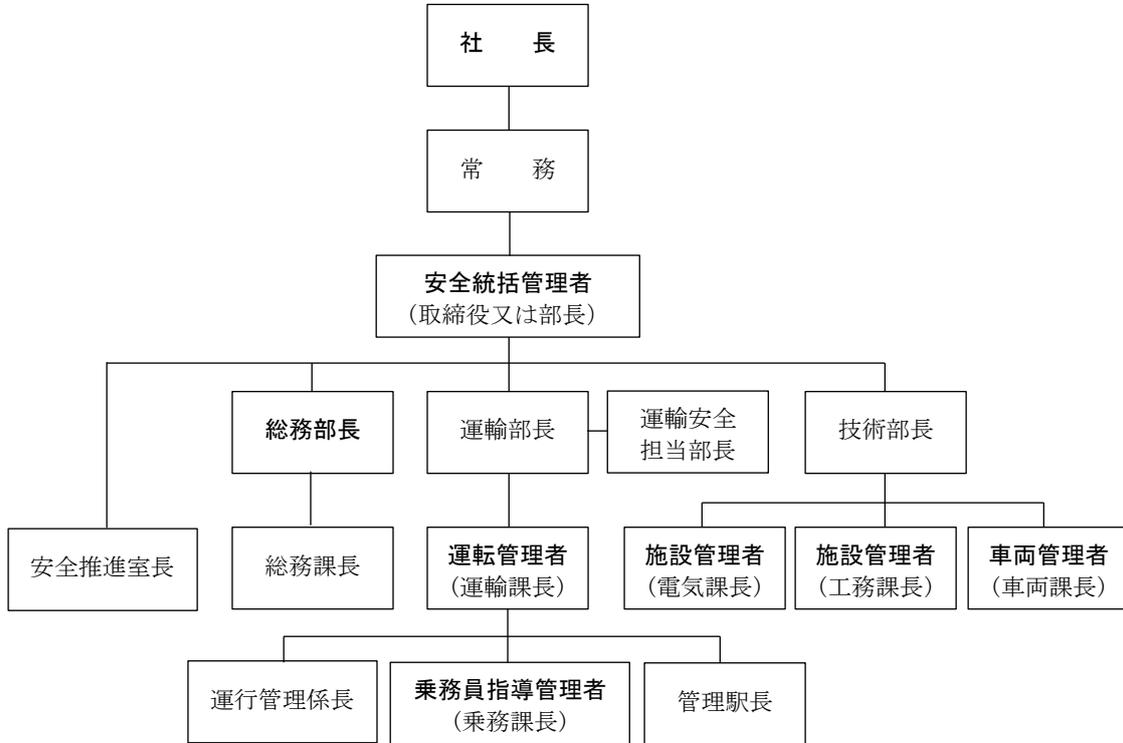
- ・鉄道運転事故  
国土交通省へ報告する鉄道運転事故はありませんでした。
- ・インシデント（鉄道運転事故等が発生するおそれのある事態）  
国土交通省へ報告するインシデントはありませんでした。
- ・輸送障害（30分以上の列車遅延、列車運休）  
国土交通省へ報告する輸送障害はありませんでした。

過去3年間に発生した鉄道運転事故等

原因	令和3年度	令和4年度	令和5年度
鉄道運転事故	0	0	0
インシデント	0	0	0
輸送障害	1 ※雪害1	4 ※風害1、雪害3	0

○ 安全管理体制

安全管理規程により、社長が選任した安全統括管理者及び各管理者の役割を定めて安全管理体制を構築し、輸送の安全の確保に取り組んでいます。



社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括します。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、運転及び事故防止に関する事項を統括します。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、施設及び災害防止に関する事項を統括します。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、車両に関する事項を統括します。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮のもと、乗務係員の資質の保持に関する事項を管理します。
総 務 部 長	投資・予算・要員計画の検討に当たり、総合的に勘案し、安全性及びその実現性の検証を行います。

○ 安全管理の取組み

・ 運輸安全マネジメント委員会

社長が委員長となり、役員及び各管理者等を招集して、四半期ごとに開催しています。各管理者からの報告を基に、安全方針の決定や各年度の安全目標の設定及び取組みの評価を行うなどのマネジメントレビューを実施して、「輸送の安全性確保」に向けたPDCAサイクルによる安全管理体制の継続的改善を行っています。

・ 安全推進会議

安全統括管理者が議長となり、各部長及び各管理者等を招集して、運輸安全マネジメント委員会の開催月以外の月に開催しています。運輸安全マネジメント委員会に報告する運転事故防止対策の協議や部門別重点取組目標の進捗状況の確認などを行い、安全管理の推進に向けた職場間の情報共有と連携強化を図っています。

・ 運転事故防止対策会議

運転管理者が議長となり、各職場の指導担当者を招集して、四半期ごとに開催しています。期間中に発生した事故及び輸送障害等の原因を究明するとともに、有効な対策の検討を行い、ヒューマンエラー等の再発防止に取り組んでいます。

・ 内部監査

社内の内部監査員により、社長及び安全統括管理者へのインタビューと現業実施部門の安全管理に係る取組みの監査を行っています。安全管理体制が有効に機能しているかを確認するとともに、経営管理部門との安全確保に向けた意見交換の場としても活用しています。



内部監査（社長インタビュー）

○ 安全確保のための設備投資等

・安全関連設備投資

令和5年度は、車両更新（7編成）、受変電設備及び高圧送配電線などの老朽設備の取替え等に4,803百万円を充当しました。



新型車両搬入

・施設の保守

運転保安設備、電車線設備及び軌道設備等の保守のため、令和5年度は、線路保存費及び電路保存費として309百万円を充当しました。



保守作業車

・車両の保守

車両の全般検査、重要部検査、月検査及び列車検査を実施しており、令和5年度は、部品交換や臨時修理を含めて131百万円を充当しました。



車両整備

○ 安全確保に向けた取組み

・ 総合復旧訓練

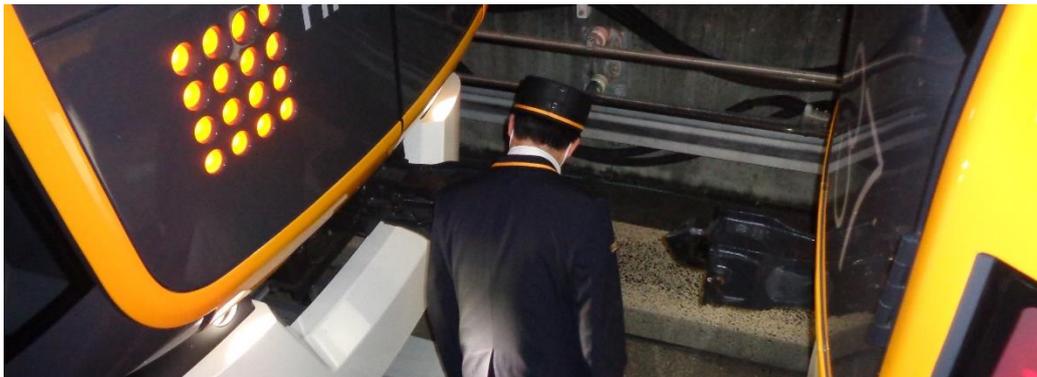
異常時における情報集約及び指示伝達方法等の更なる改善を目的とした総合復旧訓練を実施して、災害対策本部では試験的にZOOMを使用した現場の状況確認を行うなど、迅速で確実な情報集約に取り組みました。



災害対策本部

・ 社員教育訓練

運転関係係員を対象に、安全に係る知識及び技能の向上を図るため、年間計画を定めて、異常時の対応を含めた各種教育訓練を実施しています。



併結推進運転訓練

・ 職場巡視

社長と安全統括管理者が職場や教育訓練の巡視を行なうとともに、若手社員を対象とした社長懇談会を開催するなど安全確保に係る意識の向上を図りました。



乗務係員養成教育訓練巡視

## ○ 安全と安心のための設備

### ・ホームドア

ホームからの転落や列車との接触を防止するため、ホームドアとスクリーン（透明ガラス）を全駅のホームに設置しています。（車両ドアと連動して開閉します。）



閉扉時



開扉時

### ・非常通報装置（車内）

列車内で異常や急病人等が発生した場合に、係員に知らせていただくための非常通報装置を全車両に設置しています。



設置場所



非常通報器

### ・防犯カメラ（車内）

新型の7000系車両には、車内でのセキュリティを高めるために、防犯カメラを設置しています。



設置場所



防犯カメラ

・非常列車停止装置とインターホン（ホーム）

異常が発生した場合に、列車を停止させることができる非常列車停止装置と、係員にお知らせいただくためのインターホンを全駅のホームに設置しています。



非常列車停止装置



インターホン

・バリアフリーへの配慮

新型の7000系車両には、優先座席に加えて、車椅子・ベビーカー用のフリースペースを全車両に設置して、中間車両には、車椅子やベビーカーを見守ることができる座席も用意しています。



優先座席



フリースペース



座席シートを下ろすと座ってベビーカー等の様子を見ながら乗車できます。

・AED（自動体外式除細動器）

不慮の事態における、お客様の救命率向上のため、全駅の改札口近くに、AEDを設置しています。



設置場所



AED装置

○ お客様とのコミュニケーション

・お客様の声への対応

令和5年度に皆様からお寄せいただいた「お客様の声」（お客様の声カード・メール等）は279件（前年度286件）でした。

お客様からいただきましたご意見・ご要望は、貴重な情報として、今後の安全性やサービス向上の取組みの参考とさせていただきます。

・お客様の声受付件数

区分	設備	商品	対応	マナー	お礼	その他	計
令和5年度	90	42	37	33	28	49	279
令和4年度	55	32	61	31	39	68	286
令和3年度	54	39	58	27	25	71	274

・過去の対応事例



衝突注意喚起シート



トイレ案内サイン

・安全報告書のご感想、または安全への取組みに関するご意見をお寄せください。

**広島高速交通株式会社**

TEL : 082-830-3111 9:00-17:45（土日・祝日・年末年始を除く）

FAX : 082-830-3114

公式ホームページ

<https://www.astramline.co.jp/inquiry/>

※各駅の改札口付近に設置しております「お客様の声」ボックスもご利用いただけます。

